

令和7年度 事務事業マネジメントシート

1 事業概要		中事業番号		700							所属コード		266000											
政策体系		SDGs		広域事業		総合戦略		セーフ		2025		2030		2040		2050		D X推進		手段		意図（目的）		
大綱（取組）	1 「産業・仕事の未来」		1.1 1.2 4.4 4.5 8.1 8.2 8.3		○		1-4												○		地元就職の促進及びこおりやま広域圏内企業の就職・採用活動支援のため、オンラインによる企業説明会を実施する。		就職活動を控えた学生等と企業が交流する機会を設けることにより、こおりやま広域圏内企業や地域で働くことの魅力を伝え、地元企業への就職を促進する。	
施策	2 楽しくてやりがいのある満足できる仕事のあるまち																							
事業開始時周辺環境（背景）				現状周辺環境				今後周辺環境（予測）										住民意向分析						
新型コロナウイルス感染症の影響は、対面での企業活動を縮小させ、社会全体がオンラインによる活動へとシフトしている。就職活動においても例外ではなく、全国的に対面でのインターンシップは規模を縮小して開催する状況が多数見られ、就職活動中の学生は十分に業界研究を行えない状況となった。また、就労環境もテレワークやワーケーションといった新しい働き方が導入されるようになってきた。				マイナビ「2025卒大学生Uターン・地元就職に関する調査」によると、2025年3月卒予定の学生が、地元就職を希望する割合は、62.3%で3年連続で6割を超えている。コロナ禍以降、地元就職志向が高まっており、物価高騰など経済状況が不透明な状況もあり、引き続きその傾向が続いている。企業側も、新しい働き方が導入され、就職活動の主流はオンラインと対面・合同を合わせた説明会、面接会が増えており、企業情報等の発信をオンラインにより行うことで、県内はもとより県外の学生との接触機会が拡大しているが、前段調査結果の学生の意見として、地元企業の情報不足を挙げる学生もあり、地元の魅力ある企業の情報が、学生間に伝わっていない現状がある。				地方へのUIJターンを希望する学生は、今後も増加することが見込まれるが、学生が就職活動に要する時間や交通費等が就職活動時の負担と感じており、SNS等による情報収集が主な方法となっている中、ウェブによる就職活動のニーズは高いと見込まれる。地方の中小企業は、さまざまな企業情報の中から学生の目に留まるよう、積極的に情報発信していく必要があり、本市の魅力ある企業と本市での就職を希望する学生とのマッチングの場を提供する必要がある。										本市事業のアンケート結果によると、ウェブで気軽にどこからでも参加でき、さまざまな業種の地元企業を知ることができ、視野が広がったなど、参加した92%の学生が「満足」との評価を得ている。						

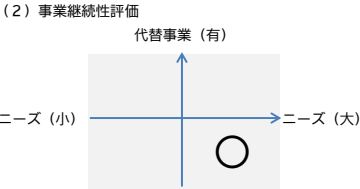
2 事業進捗等（指標等推移）

			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名			2022年度（令和4年度）		2023年度（令和5年度）		2024年度（令和6年度）		2025年度（令和7年度）		2026年度（令和8年度）		2027年度		中間指標	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	2022年度	最終指標
対象指標	県内の高校卒業者のうち大学進学者数	人		7,444		7,265		7,068								
活動指標①	参加企業数	社	20	21	30	30	30	0	30		30		30			
活動指標②	参加学生等実人数	人	100	62	150	69	150	0	50		50		50			
活動指標③																
成果指標①	「参加してよかった」と回答した参加者割合	%	80	75	84	92	86	0	88		88		88		80	88
成果指標②	（前年度参加者のうち）参加企業へのエントリー（採用選考受験意思表示）者数	人	10	23	20	14	24	0	26		26		26		10	26
成果指標③																
単位コスト（総コストから算出）	参加学生実人数、エントリー者数	千円		65		69		0	72		72		72			
単位コスト（所要一般財源から算出）	参加学生実人数、エントリー者数	千円		65		69		0	72		72		72			
事業費		千円		3,652		4,235		0	4,371		4,371		4,371			
人件費		千円		1,862		1,114		0	1,114		1,114		1,114			
歳出計（総事業費）		千円		5,514		5,349		0	5,485	0	5,485	0	5,485	0		
国・県支出金		千円														
市債		千円														
受益者負担金（使用料、負担金等）		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		5,514		5,349		0	5,485	0	5,485	0	5,485	0		
歳入計		千円		5,514		5,349		0	5,485	0	5,485	0	5,485	0		
実計区分			評価結果	拡充	改善	継続	継続	継続	拡充							

活動指標分析結果		成果指標分析結果		総事業費（事業費・人件費）分析結果	
※2024年度は実施なし		※2024年度は実施なし		【事業費】 ※2024年度は実施なし	
				【人件費】 ※2024年度は実施なし	

3 一次評価（部局内評価）

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		4
3 効率性	把握できない	
4 活動指標（活動達成度）	活動に至っていない	
5 成果指標（目的達成度）	成果に至っていない	



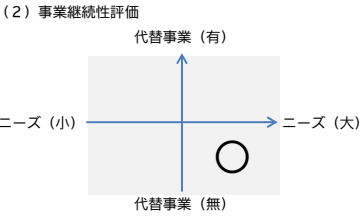
継続	一次評価コメント
令和6年度においては、別事業（※）を新たに展開し、本事業未実施のため結果なし。令和7年度においては、令和5年度まで実施していた従来のオンラインによる企業説明会に、参加企業によるスカウト型マッチング促進内容を追加し、企業が求める人材によりアプローチできる手段を確保し、地元就職率の向上、Uターン就職の促進を図ることとする。	
※別事業 市制100周年記念事業 ・Out of KidZania in こおりやま2024（単年度開催）：小中学生の職業体験イベント ・未来ビュースこおりやま（新規事業）：高校生の職業体験イベント	

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス（会議レス）
	○		○	○	○

気候変動対応	D X （デジタル市役所）	部局間協賛
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		3
2 公平性		3
3 効率性	把握できない	
4 活動指標（活動達成度）	活動に至っていない	
5 成果指標（目的達成度）	成果に至っていない	



継続	二次評価コメント
令和6年度は、市制施行100周年記念事業として小中学生の職業体験イベントを、新規事業として高校生の職業体験イベントを実施することに注力するため、当該事業の実施はなかった。事業を再開する令和7年度においては、令和5年度まで実施していた従来のオンラインによる企業説明会に、参加企業によるスカウト型マッチング促進の内容を追加し、企業が求める人材に対してよりアプローチできる手段を確保し、地元就職率の向上、Uターン就職の促進を図っていく。	
今後においても、企業と学生等の交流の機会を創出し、市内企業への就職を促進するため、継続して事業を実施していく。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画	